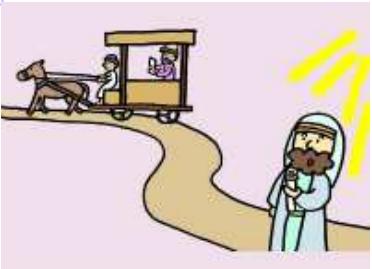


## メッセージアウトライン

日付	2019年8月11日
単元	使徒の働き・1
テーマ	御靈に導かれた伝道
タイトル	聖靈にみちびかれて伝道したピリポ
テキスト	使徒8:26～40
参照箇所	イザヤ53章、使徒8:4～25
暗唱聖句	ローマ10:15

導入	いよいよ、イスラエルの国境を越えて、福音が外国に伝えられていきます。聖靈さまはどんな方法で外国にみことばを伝えたのかな？電話したのかな？それとも手紙？	
I	<p><b>ピリポは聖靈に導かれて、エチオピヤの宦官に出会いました</b></p> <p>A. 御使いが、サマリヤで伝道していたピリポに、「立って南へ行き、エルサレムからガザに向る道に出なさい。」と言いました</p> <p>B. ピリポがエチオピヤの宦官を見つけると、聖靈さまはピリポに「近寄って、あの馬車といっしょに行きなさい。」と言われました</p> <p>C. 昔のユダヤ人は、外国人人が救われるとは思っていませんでしたが、聖靈さまはピリポを外国人に伝道するように導いたのです</p>	
II	<p><b>ピリポは、聖書のみことばから、宦官にイエスさまのことを伝えました</b></p> <p>A. エチオピヤの宦官はイザヤ書を読んでいました</p> <p>B. ピリポは「あなたは、読んでいることが、わかりますか。」と言ったので、宦官は「聖書のことを教えてほしい」とたのみました</p> <p>C. ピリポは聖書のみことばから、イエスさまのことを伝えました</p>	
III	<p><b>聖靈さまがピリポを通して働かれ、いよいよ外国人に救いが広がりました</b></p> <p>A. 宦官はイエスさまを信じ、洗礼を受けたいと言ったので、ピリポは宦官にバプテスマを授けました</p> <p>B. 主の靈がピリポを連れ去られ、宦官は喜びながら帰って行きました</p> <p>C. こうして福音は、ユダヤ人だけでなく、外国人にも広がっていました</p>	
結論	聖靈さまがピリポを導かれ、福音が外国人の人にも伝わっていきました	
適用	イエスは、あなたにも誰かに福音を伝えて欲しいと願っておられます。ピリポが伝えなかつたら、このひとは信じなかつたし、外国に福音は広がりませんでした。しかし聖靈がピリポを遣わさなかつたら、ピリポはこの外国人に伝道しなかつたでしょう。聖靈さまがだれに伝えればいいのか、いつ伝えればいいのか教え導いてくださいます。あなたも、聖靈さまの導きを聞き、従っていきましょう。導かれ方は色々で、祈りの中で示される場合もあれば、困っている人の必要を見せてくださる場合もあります。また、人に伝えるために聖書をよく学んでおきましょう。	
備考		